

ジャガイモシストセンチュウについて

英名：Potato cyst nematode

学名：*Globodera rostochiensis*



幼虫



雌成虫



シスト

1. 寄主植物及び被害：

ばれいしょ、トマト、ナスが主な寄主植物。根に寄生して養水分の吸収を妨げることで、株の黄化・萎縮を引き起こし、減収となる。

2. 分布：

北アメリカ、南アメリカ、ヨーロッパなど。

3. 形態及び生態：

雌成虫及びシストはほぼ球形。幼虫は植物の根に寄生し、肥大化して雌成虫となり、その後褐色のシストを形成する。シストは20年以上生存することもある。

シスト：包のう。数百個の卵を包含している。

4. 防除対策：

撲滅は困難であるが、被害を低減する措置として抵抗性品種の栽培、輪作、土壌施用殺線虫剤の施用が挙げられる。